

神戸空港国際化に伴う 神戸ーパラオチャーター便就航 に係る調査研究報告書

早稲田大学総合政策科学研究所 招聘研究員 鍋島直宏

(兼) 株式会社富士通総研 行政経営グループチーフシニアコンサルタント

目次

- ・ パラオ共和国の現状 P. 1
- ・ パラオ共和国と兵庫県・神戸市の関係 P. 9
- ・ 神戸空港の現状 P.10
- ・ 神戸—パラオチャーター便のポテンシャル P.17
- ・ 実現のためのいくつかの提案 P.19

パラオ共和国の現状【政治経済の概観】

パラオ共和国の概要

独立	1994年
言語	英語、パラオ語 (アンガウル州憲法第12条第1項「Palauan, English and Japanese shall be the official languages.」)と規定)
人口	約1.7万人(うち外国人5千人)
面積	約488km ² (屋久島と同程度)
国家体制	大統領制、上院・下院の二院制
国家予算	94,879,000米ドル(2023年度)
一人当たりGNI	12,700米ドル(世界銀行、2021年)、主産業は観光業。漁業、農業共に自家用中心。

出典：在パラオ日本国大使館令和5年8月「パラオ概観」より作成

パラオ共和国の現状【観光を取り巻く状況①】

国際観光客到着数は2022年は前年から回復基調に転じたものの2019年比86.9%減です。

コロナ禍前後の国際観光客到着数及び国際観光収入の推移（2019～2022年）

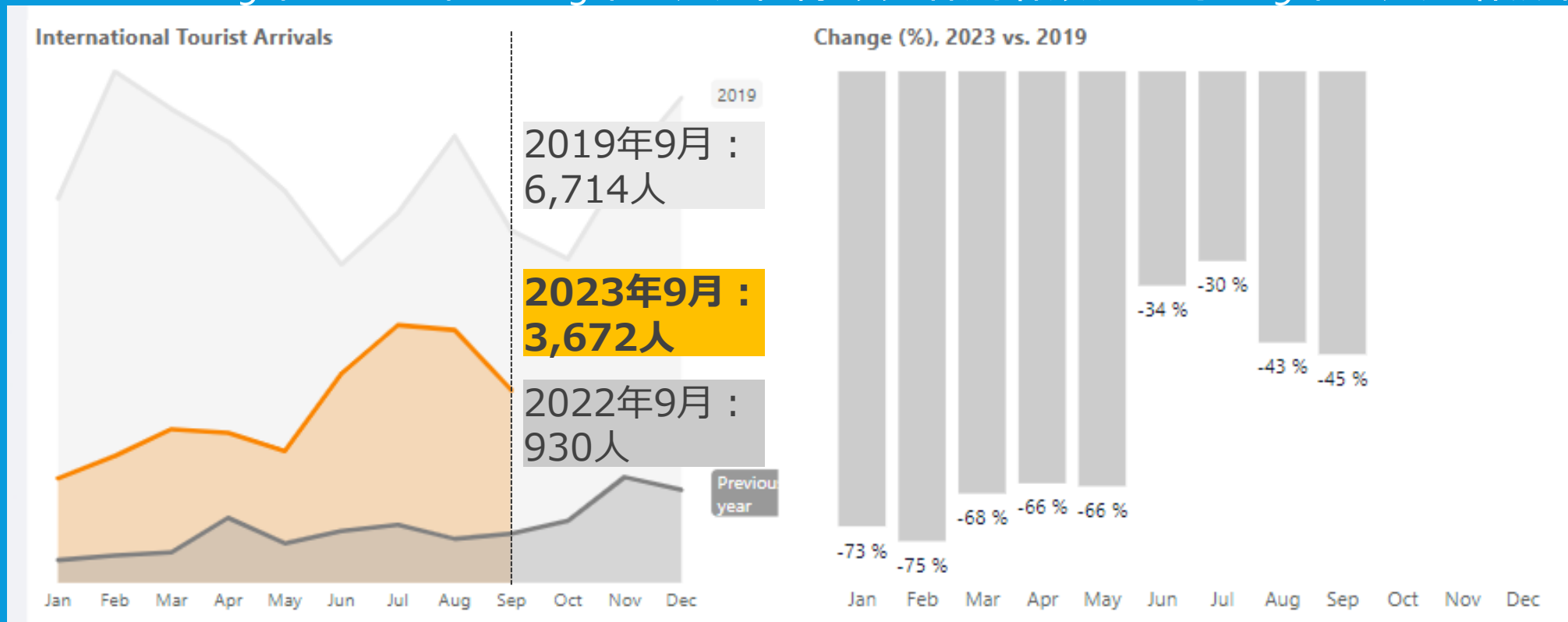
	2019年	2020年	2021年	2022年	% Change vs. 2019		
					20/19	21/19	22/19
国際観光客到着数（千人） International Tourist Arrivals	94	18	5	12	-80.5	-94.4	-86.9
国際観光収入（100万米ドル） International Tourism Receipts	86	47	6	..	-45.2	-92.7	..

出典：World Tourism Organization (UNWTO) “International Tourism Highlights – 2023 Edition” より作成

パラオ共和国の現状【観光を取り巻く状況②】

2023年はさらに回復基調で推移。しかしコロナ前の水準には遠く及ばない状況です。

2019年・2022年・2023年の月別国際観光客到着数及び対2019年比月別増減率



出典：World Tourism Organization (UNWTO) "INTERNATIONAL TOURISM AND COVID-19"より作成

パラオ共和国の現状【観光を取り巻く状況③】

アジア・オセアニア地域全体の対2019年同月比で見てもその回復は未だ限定的です。

2023年国際観光客到着数の対2019年同月比

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	YTD
パラオ	-73%	-75%	-68%	-66%	-66%	-34%	-30%	-43%	-45%	-65%
アジア・太平洋地域全体	-52%	-48%	-44%	-42%	-38%	-34%	-28%	-26%	-25%	-38%
参考：日本	-44%	-43%	-34%	-33%	-32%	-28%	-22%	-14%	-4%	-29%

出典：World Tourism Organization (UNWTO) "INTERNATIONAL TOURISM AND COVID-19" より作成

パラオ共和国の現状【政治を取り巻く状況①】

パラオは台湾と国交を結ぶ数少ない国であり、太平洋諸国においても中国の存在感が強まる中で外交上きわめて重要な存在です。

太平洋島嶼国と中国/台湾との関係				
地域	国名	中国	台湾	備考
メラネシア	PNG	○		
	ソロモン諸島	○		2019
	フィジー	○		
	バヌアツ	○		
ポリネシア	サモア	○		
	トンガ	○		
	クック諸島	○		
	ニウエ	○		
	ツバル		○	

○外交関係				
地域	国名	中国	台湾	備考
ミクロネシア	キリバス	○		2019
	ナウル		○	
	ミクロネシア連邦	○		
	マーシャル諸島		○	
	パラオ		○	
その他	豪	○		
	NZ	○		
	仏領ポリネシア	○		仏海外領土
	ニューカレドニア	○		仏海外領土

出典：在パラオ日本国大使館令和5年8月「パラオ概観」より引用

パラオ共和国の現状【政治を取り巻く状況②】

反中国のウィップス大統領には親中国の反対派も存在し、パラオ経済に魅力的なチャイナマネーの存在を軸として反対派が2024年11月の大統領選挙に勝利した場合、一瞬にして、親中国国家に変わる可能性も否定できません。

こうした日本・パラオ関係における喫緊の課題は以下の3点が挙げられています。

①直行便の早期実現

②2024年の外交樹立30周年の周年の年における更なる関係強化

パラオ独立30周年及び日パラオ外交樹立30周年を契機とした長期的な視点に立った「人的交流の活性化」、「投資促進（PPP法式）」、「経済協力の強化」、「文化行事の実施」、「日・パラオ特別経済協定の締結」

③2025年の天皇皇后両陛下のパラオ御訪問の実現

出典：在パラオ日本国大使館令和5年8月「パラオ概観」より引用

パラオ共和国の現状【兵庫県及び神戸市との関係】

パラオ共和国は国として唯一の兵庫県の姉妹・友好提携先として関係性を築いてきました。

兵庫県及び神戸市とパラオの関係

兵庫県	<ul style="list-style-type: none">• 1983年8月16日に友好・姉妹提携を締結。青少年交流や海外技術研修員の受入れ、JICA草の根技術協力事業（パラオ共和国への環境協力事業－沿岸域の持続可能な開発に向けての環境保全事業）による専門家の派遣など、人材交流を展開。• コロール州ではJICA草の根技術協力事業「パラオ国リサイクルセンターにおけるベラウ・エコ・グラス（廃ガラスを活用したガラスうる工房）の事業軌道化」を2022年から実施などの交流を展開。• 2022年8月にはアデルバイ大使が兵庫県知事を表敬訪問。
神戸市	<ul style="list-style-type: none">• 神戸空港国際化に際して、2019年には同空港を拠点とするスカイマーク社がパラオ線を含む国際線の就航の検討を表明。• 2022年7月には神戸市市長室国際部国際課長、津久居典彦パラオ共和国名誉総領事、神戸市議員村上立真氏らとピーター・アデルバイ駐日パラオ共和国特命全権大使（着任：2022年6月）が神戸空港の将来的な国際化を見越した関係構築について意見交換を実施し、翌8月にはアデルバイ大使自ら神戸市長を表敬訪問するなど交流を深めている。

神戸空港の現状【開港経緯①】

1960年代、関西における新たな空港整備が議論され始めて以降、紆余曲折の歴史を経て2006年に神戸空港は開港しました。

神戸空港開港までの概要

1966年	• 兵庫県、神戸市が淡路島北部に関西新空港建設構想を発表
1971年	• 神戸市が「ポートアイランド沖新空港試案」を発表
1972年	• 神戸市議会、神戸沖空港反対決議を採択。その後も近隣自治体の神戸沖、大阪湾内設置反対決議が相次ぐ。神戸沖新空港建設に関して市民アンケート調査の結果、七割近くが反対を表明
1973年	• 宮崎神戸市長が正式に神戸沖市空港建設反対を表明
1982年	• 兵庫県議会総務企画委員会が新空港建設促進の請願を採択。実質的に神戸沖空港推進へ • 神戸市が「神戸沖新空港計画試案」を発表
1996年	• 神戸空港設置管理者に係る議決（兵庫県議会，神戸市会）
2000年	• 空港推進派市長リコール署名、有効票数に届かず不成立
2006年	• 神戸空港開港

神戸空港の現状【開港経緯②】

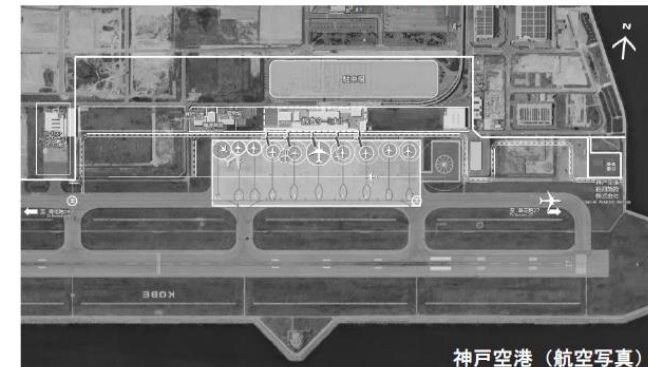
神戸空港は都市型海上空港として、2006年2月に開港し2022年10月には、全国13都市への国内線ネットワークを形成しています。

神戸空港の概要

	概要
設置管理者	神戸市
開港日	2006年2月16日
面積	約156ha
滑走路	1本（長さ2,500m、幅60m）
スポット	10スポット
発着回数	1日最大80回（開港当初60回）
運用時間	7時～23時（16時間）
年間旅客数	約323万人
ターミナルビル	総延床面積：18,600㎡（鉄骨造4階建） ①旅客ターミナルビル 17,100㎡ ②付帯施設（キャノピー） 1,500㎡
駐車場	約2,100台 （第1駐車場 約1,500台、第2駐車場 約600台）
アクセス	神戸三宮から ポートライナー：約18分 バス：約22分



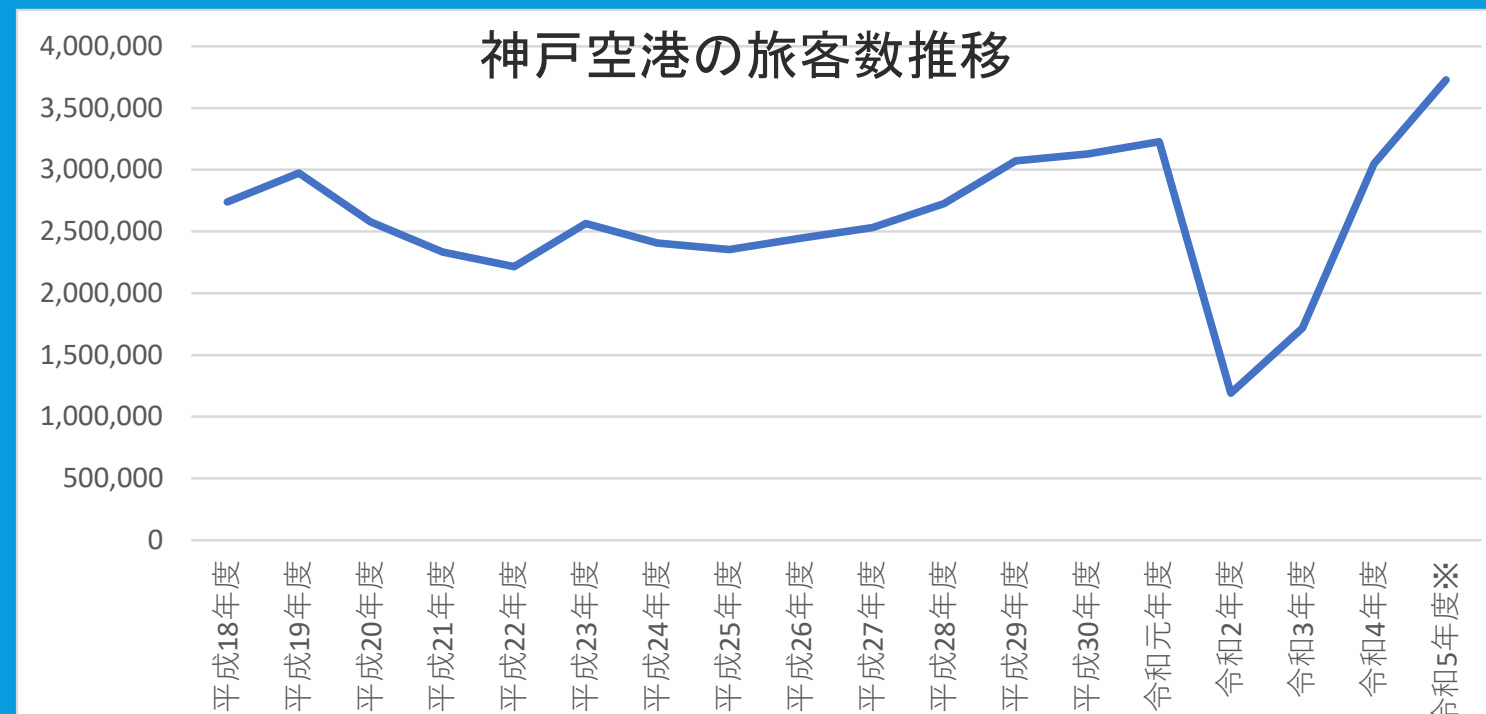
神戸空港の位置



神戸空港（航空写真）

神戸空港の現状【現状①】

神戸空港は平成18年2月の開港以来 累計旅客数は45,604,611人です。今年度10月までの旅客数は新型コロナから回復基調となった令和4年度の同月比で平均約122%であり、このままいくと、開港以来最多旅客数の更新も視野に入っています。



※令和5年度は、令和5年度4～10月度の旅客数前年度同月比平均を算出し令和4年度旅客数に乘じ算出

出典：神戸市HP「神戸空港利用状況」2023年11月24日閲覧より作成

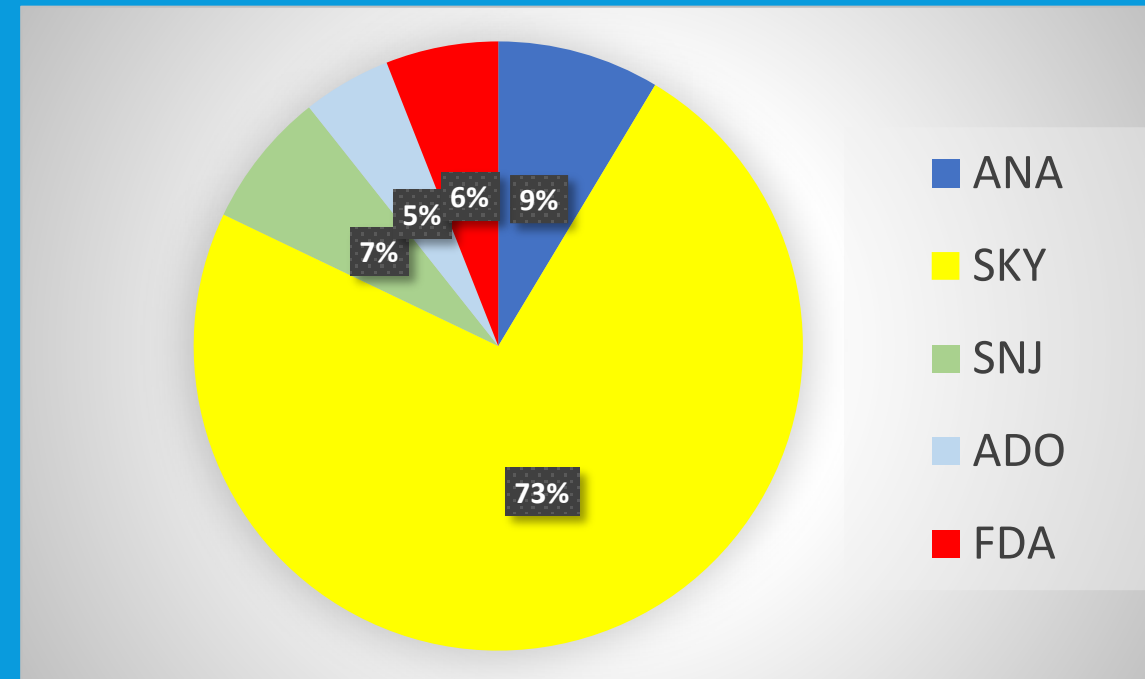
神戸空港の現状【現状②】

神戸空港の年間旅客数を航空会社別にみるとハブ空港としているスカイマーク株式会社が毎年度突出した数値であり、神戸空港の約7割の旅客者がスカイマークを使っています。

神戸空港の旅客数（航空会社別） 単位：人

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ANA	383,520	60,917	144,396	275,843	172,404
SKY	2,378,400	929,969	1,267,521	2,175,073	1,470,754
SNJ	282,983	125,925	142,273	243,909	144,655
ADO	140,413	37,256	72,733	161,219	93,874
FDA	40,901	35,414	92,452	193,277	119,580
合計	3,226,217	1,189,481	1,719,375	3,049,321	2,001,267

神戸空港の旅客数割合（航空会社別：R5年度）



※令和5年度は4～10月度合計

出典：神戸市HP「神戸空港利用状況」2023年11月24日閲覧より作成

神戸空港の現状【今後の展望①】

開港の経緯上、関西国際空港を補完する役割が求められる位置づけでしたが、関西3空港のコンセッション方式導入を契機として神戸空港の担う役割も変化しつつあります。

【従来の神戸空港】

- ◆ 発着回数は1日当たり60回が上限、運用時間は7時～22時までの15時間、国際線の就航は関西国際空港に限定



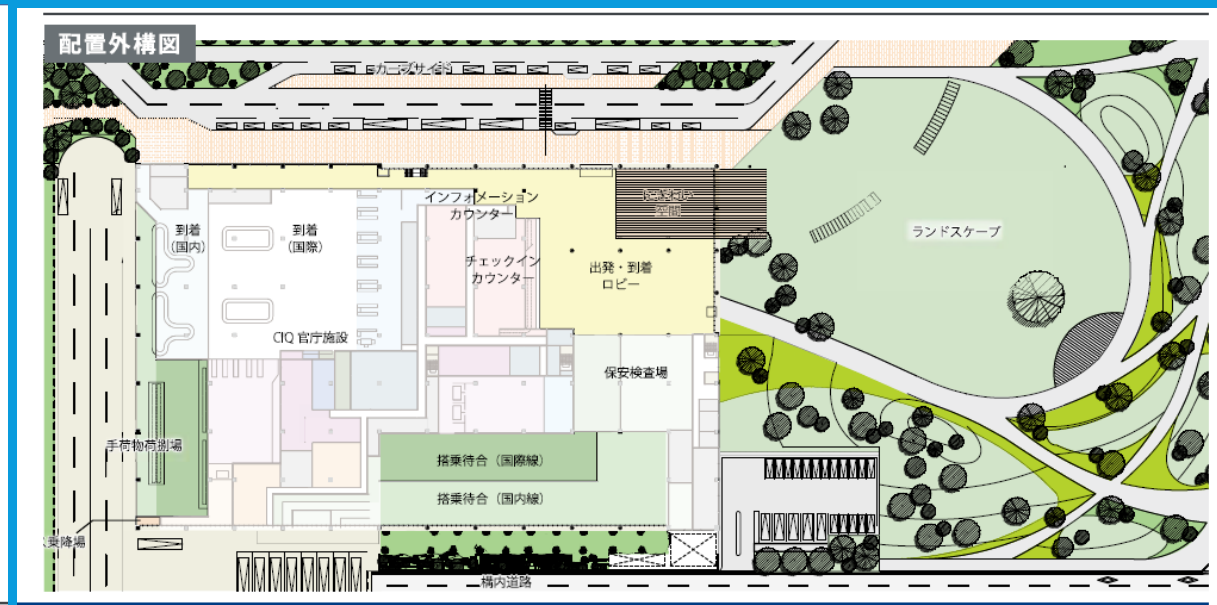
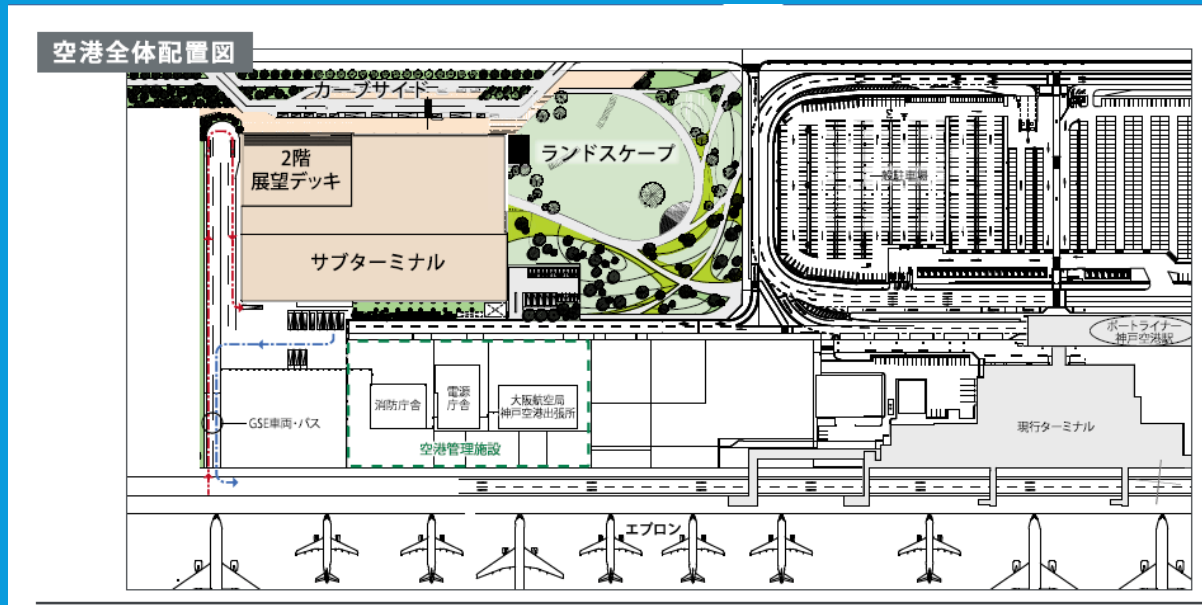
【これからの神戸空港】

- ◆ 2025年に国内線の発着回数を1日あたり最大120回、また国際チャーター便の運航、2030年前後には1日あたり最大40回の国際定期便の運航へ

出典：未来へ羽ばたく神戸空港HPより作成

神戸空港の現状【今後の展望②】

サブターミナルは、ロビー（出発/到着ロビー、送迎者待機場所、総合案内、商業施設、両替所等サービス施設等）約4,000㎡のほか、国際線エリア（保安検査場、出国審査場、搭乗待合室、入国審査場、手荷物受取所、商業施設等）約3,000㎡など延床面積は約14,600㎡を予定しています。



神戸空港の現状【今後の展望③】

2025年の国際チャーター便運用や国内線発着枠の拡大に向け、国内・国際一体型ターミナルの整備事業に着手しています。
(事業者は代表企業:竹中工務店・湊建設工業・TC 神鋼不動産建設・梓設計グループ)。



施設概要

- 主要用途: 空港旅客ターミナルビル
- 延床面積: 約14,600㎡
- 建築面積: 約12,900㎡
- 建物階数: 地上2階
- 構造種別: 鉄骨造

神戸ーパラオチャーター便のポテンシャル①

最盛期には3万人を超える日本人が訪れていましたが、年々その数は減少しています。それでもコロナ前はパラオの年間来訪者数94,051人のうち日本人が19,742人と日本人が年間来訪者全体の2割程度を占めていました。

2018年5月のデルタ航空日本パラオ直行便撤退も訪問者数減少に影響していると考えられます。ただし日本から4時間半程度の常夏の島で他に類を見ない親日国はアウトバウンド先として底堅い観光需要があります。

パラオへの日本人訪問者数

	2012年 (最盛期)	2014-2019 年平均	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
実数(人)	34,428	約3万人	26,031	22,416	19,742	5,762	162
前年からの増減率	-	-	-11.0	-13.9	-11.9	-70.8	-97.2

出典：2012年、2014-2019年平均は在パラオ日本国大使館令和5年8月「パラオ概観」より作成
2017年以降は、日本政府観光局（JNTO）「各国・地域別 日本人訪問者数〔日本から各国・地域への到着者数〕（2017年～2021年）」 <https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>より引用 17

神戸ーパラオチャーター便のポテンシャル②

直行便運航のポテンシャルは観光需要だけではなく、貨物輸送の面でも可能性を秘めています。それがパラオ特産品のマグロ（クロマグロ・キハダマグロ）輸出です。また、安定的なマグロ輸出を下支えする産業基盤の支援によりパラオの観光産業以外の稼ぐ力育成にもつながります。

ウィップス大統領自ら、観光以外のパラオ経済の柱としてパラオでのマグロ水揚げ、パラオからの空輸について発言しています（笹川平和財団「パラオのウィップス大統領、漁業が経済成長の鍵の一つ」2021/11/22）。

同国海域で獲れたマグロの多くは沖縄県でも水揚げされており、既に国内で広く流通していることは品質の証左です。



実現のためのいくつかの提案①

チャーター便実現に向けて6つの取組をご提案いたします。

①友好協定を活かした観光誘客施策の展開

②神戸空港国際化に向けた中長期的なリレーションシップ構築

③チャーター便を活用した訪問団のパラオ派遣

④チャーター便就航を記念した兵庫県立兵庫津ミュージアムにおけるパラオ展の実施

⑤立地的特性を生かしたワーケーション需要の創出と基盤整備

⑥マグロのトライアル輸送の実施

実現のためのいくつかの提案②

まずは2025年のチャーター便就航に向けた機運醸成に取り組みながら、中長期的には2030年の国際定期便就航を見据えた環境整備も視野に入れていきます。

①友好協定を活かした観光誘客施策の展開

- ◆ 友好協定を活かした県・神戸市一体となった観光誘客施策の展開のほか、神戸市会議員村上氏を中心として議連の立ち上げも視野に入れ取組を進めます。
- ◆ 後述する兵庫県立兵庫津ミュージアムにおける特別展開催などアウトバウンド需要を掘り起こします。

◆ ②神戸空港国際化に向けた中長期的なリレーションシップ構築

チャーター便運用実績により、神戸空港国際線ターミナルにおける設備整備面で説得力を持って当局との調整が円滑に進められることが期待されます。また、2030年以降の国際定期便就航に際しても1日当たり最大40便の限られた枠内での調整を実績をもって協議できる環境づくりが期待できます。

③チャーター便を活用した訪問団のパラオ派遣

④チャーター便就航を記念した兵庫県立兵庫津ミュージアムにおけるパラオ展の実施

⑤立地的特性を生かしたワーケーション需要の創出と基盤整備

⑥マグロのトライアル輸送の実施

実現のためのいくつかの提案③

まずは2025年のチャーター便就航に向けた機運醸成に取り組みながら、中長期的には2030年の国際定期便就航を見据えた環境整備も視野に入れていきます。


①友好協定を活かした観光誘客施策の展開

②神戸空港国際化に向けた中長期的なリレーションシップ構築

③チャーター便を活用した訪問団のパラオ派遣

◆チャーター便就航の暁には、本提案の賛同者の人脈を活用し、合計1機分程度の集客をご協力いたします。個人客販売も可能な場合、毎便割り当てによる協力も可能ですが、大統領特別顧問（観光プロモーション）菊池 正雄氏が顧問を務めるツアー会社「ベラウツアーグループ」と連携し、同社に席を確保いただき、本会で集客を行うなど柔軟な連携をご提案します。

④チャーター便就航を記念した兵庫県立兵庫津ミュージアムにおけるパラオ展の実施

◆兵庫県立兵庫津ミュージアムにおけるパラオ展の実施を兵庫津ミュージアム笠井敏光館長からご承諾いただきました。同ミュージアムは2021年11月開館から1年4ヶ月で来館者10万人を超える施設で、アウトバウンド需要の掘り起こしも期待できます。（様より展示物輸送のご協力についてご承諾いただいています。）

⑤立地的特性を生かしたワーケーション需要の創出と基盤整備

⑥マグロのトライアル輸送の実施

実現のためのいくつかの提案④

まずは2025年のチャーター便就航に向けた機運醸成に取り組みながら、中長期的には2030年の国際定期便就航を見据えた環境整備も視野に入れていきます。

①友好協定を活かした観光誘客施策の展開

②神戸空港国際化に向けた中長期的なリレーションシップ構築

③チャーター便を活用した訪問団のパラオ派遣

④チャーター便就航を記念した兵庫県立兵庫津ミュージアムにおけるパラオ展の実施

⑤立地的特性を生かしたワーケーション需要の創出と基盤整備

◆ コロナ禍において日本企業においてもテレワークが広く普及しました。時差の無いパラオは、オンライン会議・リアルタイム通話など海外におけるワーケーションの好条件が整っています。このため新経済連盟や関西経済連合会を念頭にワーケーション需要の掘り起こしを定期便就航に向けて働きかけていきます。またチャーター便就航時にはワーケーション実証実験の実施を検討します。

⑥マグロのトライアル輸送の実施

◆ 先述のとおりマグロ輸出はパラオ経済の次なる柱の一つとして期待されており、旅客数の繁閑差を埋める航空貨物輸送運賃の確保や国際貨物輸送の実績・ノウハウ獲得も期待されます。

実現のためのいくつかの提案⑤

提案内容の実現に向けて、パラオ共和国名誉総領事 津久居典彦氏、味覚糖株式会社代表取締役社長 山田泰正氏のご助言を賜りながら、本邦駐劔パラオ共和国大使 ピーター・アデルバイ閣下やパラオ共和国側とも緊密な連携を持ちながら日パー体となって取組を推進してまいります。ウィップス大統領からも直々に「日本の航空会社に直行便をぜひ飛ばしていただきたい」とおっしゃっていただき2国間での連携のための関係性の素地は整っています。

11月2日アイタロー外務大臣表敬訪問

（左から菊池大統領特別顧問、長浜佐野市議会議員、村上神戸市会議員、津久居パラオ共和国名誉総領事、アイタロー外務大臣、味覚糖株式会社代表取締役社長山田氏、富士通総研鍋島氏）



11月2日ウィップス大統領表敬訪問

（左からウィップス大統領、村上神戸市会議員）

